

「ホワイトロード」キャンペーン 交通安全啓発プログラムを全土で展開

タイ 主体：タイ国トヨタ自動車 (TMT)

【概要】

1988年より、交通安全キャンペーン「ホワイトロード（タイ語で“安全な道”の意味）」を展開しています。これまでに、子どもたちが交通安全について実践的に学べる「ホワイトロード交通公園」の開園や、マスコットが全国各地の小学校を訪問する交通安全啓発プログラム、トヨタディーラーと協働で若年層や運転初心者などを対象にした交通安全キャンペーンなどを実施。これらの活動は、タイ教育省、タイ王国国家警察庁、タイ運輸省などの協力のもとに行われており、政府からはその継続的な取り組みを高く評価されています。



子どもたちに交通安全について説明

【これまでの実績】

2015年度参加児童数：19万9,230人
累計参加児童数：246万9,000人（2016年3月時点）



ホワイトロード交通公園にて

体験型イベントやソーシャルメディアなどを通じた交通安全啓発活動

中国 主体：トヨタ自動車中国 (TMCI)

【概要】

中国ではクルマの保有台数の急増に伴い、特に大都市で渋滞や交通事故が頻発するなどドライバーや歩行者の交通安全意識・マナー向上が課題となっています。そこで2005年より、北京・上海などの大都市で交通安全に関する体験型イベントを実施。2014年からは、より多くの方々に関心を持っていただけるよう、交通安全の知識・マナーを分かりやすく織り込んだ物語、漫画、アニメを制作し、新たに開設したSNSや外部動画サイトへの掲載を始めました。子ども向けには、上記の漫画を冊子として配布しています。

【これまでの実績】

累計参加者数：約3万人 累計アニメ視聴回数：約24万回
累計SNS閲覧数：約7万回（2016年3月時点）



飲酒ゴーグル着用体験



絵本を読んでいる子ども

トヨタ・コミュニティ・ファウンデーションによる交通安全活動支援

オーストラリア 主体：トヨタオーストラリア (TMCA)

【概要】

TMCAが地域コミュニティ貢献活動を統合するため2011年に設立したトヨタ・コミュニティ・ファウンデーション (TCF) は、交通安全に関する助成活動の一環として、NGO「ロード・セーフティ・エデュケーション (RSE)」の主要パートナーにもなっています。2001年から活動続けるRSEはティーンエイジャー向けに、実践的で効果が高いワークショップなどを通じて、安全な交通社会の発展、交通事故による死傷者低減に貢献。ワークショップでは、免許取りたてのドライバーに対し正しい運転態度と習慣を身につけることを教えています。

【これまでの実績】

ワークショップの一つ「一日体験プログラム」に、毎年5万人以上の高校生が参加・受講（2016年3月時点）



一日体験プログラムの様子



タイヤの摩耗を確認する生徒たち

ディーラーと連携してドライビングスクールを開設

インド | 主体：トヨタキルロスカ自動車 (TKM)

【概要】

交通規則の順守、交通安全、エコドライブなどをインド国内に普及させるため、ディーラーと連携しトヨタ・ドライビング・スクールを開設しています。このプログラムには、クルマを運転する人が自信を持って安全に楽しく運転できるよう、初心者が運転に慣れるためのプログラム「スタート」と、上級者として運転スキルを磨くためのプログラム「スマート」が用意されています。トレーニングの各段階で、総合的な評価とフィードバックを受けられることが大きな特徴です。

【これまでの実績】

2020年までにインド国内で50スクール開設予定。
2016年5月時点、4つのスクールを開設（コーチ、ラクナウ、ハイデラバード、チェンナイ）。延べ487人がプログラムに登録し、344人が修了（2016年3月時点）



実際のクルマを使ったシミュレーター



トヨタドライビングスクールロゴ

空港タクシー運転手の安全運転を啓発

インド | 主体：トヨタキルロスカ自動車 (TKM)

【概要】

インドでは毎年1月に交通安全週間を設け、国中でさまざまな啓発活動を行っています。その一環として、TKMは空港タクシー運転手向けに、安全運転トレーニング講習会を開催。その他、健康診断や視力検査を実施し、更なる検査が必要な場合は病院を紹介し、視力に問題がある場合はメガネを無償提供しています。

【これまでの実績】

2015年度健康診断受診者数：1,280人 メガネ無料配布：306人
病院紹介：4人、累計受診者数：2,580人 メガネ無償配布：631人
病院紹介：8人（2016年3月時点）



健康診断の血液検査



視力検査の様子

児童対象の交通安全教育

カンボジア | 主体：カンボジアトヨタ (TCAM)

【概要】

カンボジアでは、交通事故死者数が年々増加し、社会の大きな懸念事項の一つになりつつあります。そのような状況をかんがみ、TCAMは交通事故減少に貢献すべく、2014年夏に交通安全プログラムを開始。大型商業店2カ所で子どもたちを対象に、交通安全専門家によるレクチャーやビデオ上映、交通警察による交通標識の説明、交通ゲームなどを実施しました。2015年10月には地方へと活動範囲を広げ、シェムリアップとバタンパンの学校で児童を対象に実施。児童は、レクチャーの後、学んだ知識から正しい動き方を実践で見つけ出すゲームを行いました。

【これまでの実績】

2014年度開催回数：2回 延べ参加人数：120人
2015年度開催回数：2回 延べ参加人数：330人



ショッピングモールで交通ゲームに参加した子どもたち



バタンパンの学校で交通安全について学ぶ児童たち

子ども向け交通安全意識向上活動

トルコ | 主体：トヨタモーターマニュファクチャリングトルコ (TMMT)

【概要】

早期教育によって子どもの交通安全に対する意識を高めるため、2005年より、拠点を置くサカリヤ県の「全国交通安全週間」行事に参加。児童を対象とした「交通安全をテーマとした絵画コンテスト」は、子どもの交通安全意識向上と想像力育成に貢献しています。2010年からは、従業員の積極的なボランティアにより、小学2年生を対象とした交通安全教室を開始し、アニメで交通ルールを学んだり、シートベルトの使い方や夜間の視認性を実際に体験しています。

【これまでの実績】

累計参加者数：7,000人以上（2016年3月時点）



横断歩道の渡り方を学ぶ子どもたち



ゲームを通じて道路標識を学ぶ子どもたち

【ティーンドライブ365】若者向けの交通安全教育を支援

アメリカ | 主体：トヨタモーターノースアメリカ (TMNA)

【概要】

米国では、自動車事故が10代の主要な死亡原因であり、なかでも10代で免許取得後、初年度は最も危険な年とされています。TMNAはこの事実に基づき、10代のドライバーが家族の協力を得ながら安全運転を学ぶ「ティーンドライブ365」を実施。Webサイト上で親子が安全運転について話し合うきっかけとなるさまざまなコンテンツの提供と、安全運転を啓発するビデオコンテストを開催しています。サイトを訪れた人は、運転中に起こりうる危険、事故を回避するための心得や技術を学べます。

【これまでの実績】

ビデオコンテストの参加者数：1,500人以上

ウェブサイトのアクセス数：43万2,049回（2016年3月時点）



安全運転啓発のビデオコンテスト

【トヨタ・アンド・ユー・キッズ】子ども向けの交通安全教育を支援

アルゼンチン | 主体：アルゼンチントヨタ (TASA)

【概要】

TASAでは、地域の発展を支える活動の一環として、交通安全活動、「トヨタ・アンド・ユー・キッズ」を開催しています。このプログラムでは、5～9歳までの子どもたちが、交通安全のテーマパークで、標識や信号等の交通ルールを楽しく遊びながら学ぶことができます。家族と一緒にこのプログラムで学んだ知識は、子どもたちの日々の生活に最大限に活かされています。この活動を通して今後も地域の発展に貢献したいと考えています。

【これまでの実績】

第8回バラデロ市参加人数：1,360人

第9回ザラテ市参加人数：1,050人

第10回カンパナ市参加人数：960人

累計プログラム参加人数：1万1,500人（2016年3月時点）



テーマパークで遊びながら交通安全を学ぶ子どもたち